

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 吉田 節美
幹事 石黒 正則
会報・雑誌委員長 大口 弘和

No.13

ロータリーの夢を追い続けよう

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

1998~99年度 RI会長 ジェームスL・レイシー

きょうの例会

第778回 平成10年10月20日(火)

秋季家族会

歌舞伎観劇 3時15分~ 於:御園座

先週の記録

第777回 平成10年10月13日(火)

曇り

◆“奉仕の理想”

◆黙想 ~職業奉仕~

◆出席報告

会員 72(65)名 出席 47名

出席率 72.31%

前々回 9月29日 (修正出席率) 98.46%

◆ビジター紹介 3名

◆ゲスト紹介(優良従業員)

八雲設備工業(株) 工事課長 横井 公一氏
(株)水野本社 総務部長 籠橋 康氏
日東産業(株) 課長 服部 英治氏

ニコボックス

萩原喜代子さん 果物がおいしい季節になりました。

小坂井盛雄君 本日終戦秘話を語部として話させていただきます。

成田 良治君 東海クラシック、プロアマで加瀬選手と廻りましたが、40組中ブービーでした。

鈴木 理之君 先日生まれた孫がやっと1ヶ月たちました。

舎人 経昭君 運動会天気よく無事に終わりました。

小林 明君、水野 民也君 従業員表彰、有難うございます。

足立 一成君、秋山 茂則君、林 哲央君、伊藤 健文君、神崎 住恵さん、加藤 大豊君、河村 政孝君、木原 喜造君、小杉 啓彰君、小山 雅弘君、久保田 皓君、久野 峯一君、松居 敬二君、三輪 康君、宮尾 紘司君、水谷 祥督君、西川 豊長君、大口 弘和君、鷺谷 龍男君、佐久間良治君、竹内 眞三君、

田中 昭二君、和田 正敏君、吉田 節美君 メッセージはないけど気持ちだけ……。
二村 聡君 結婚記念日祝い。

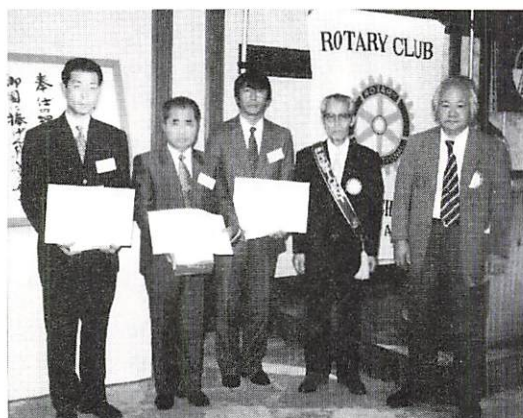
石黒幹事報告

1. 本日例会終了後、指名委員会を開催致しますので、担当の方は2F琴の間にお集り下さい。
2. 次回例会は、秋季家族会・歌舞伎観劇で午後3時15分より御園座松栄食堂にて開催致しますので、お昼の例会はございません。
3. ロータリーの友10月号とよねやまだよりが来ておりますので、お帰りにお持ち下さい。

佐野職業奉仕委員長挨拶

10月は職業奉仕月間ということで、今日は優良従業員表彰として、3名の方を御紹介させていただきます。

被推薦者名	年齢	勤年数	役職名	推薦事業所名
横井 公一	38	11	工事課長	八雲設備工業(株)
籠橋 康	66	10	総務部長	(株)水野本社
服部 英治	38	15	課長	日東産業(株)



吉田(節)会長挨拶

3名のお客様とビジターをお迎えしての例会でございます。さて春は花、夏ほととぎす、秋は月と申しますが、旧暦の八月十五日の月を十五夜と云うのに対し、

旧暦の九月十三日の月を十三夜と云います。その十三夜は今の暦で云いますとほぼ十月の中頃となる様であります。

十五夜が先に来て十三夜が何故あとに来るのか、この辺りよく解りませんが、十三夜は十五夜のあとに来るので「あと月」とも呼ばれるそうです。そして月見の宴のお供え物も十五夜は「芋明月」と云って里芋を、十三夜の方は「栗明月」「豆明月」と云って栗や枝豆を供えます。尚十五夜の宴は中国の唐の時代から行われている風習の様ですが、十三夜は日本独特のもの様でその由来は物の本に依りますと延喜十九年(919年)の九月十三日の夜、宇多法皇が月見の宴を催したものに始まると言われております。

そして我々ロータリーの方では十月は職業奉仕月間と米山月間であり、千種RCに於きましても、この月間にちなみ職業奉仕に関する行事が行われますが、本日はその一環であります優良従業員の表彰を行う日でありまして、先程3名の優秀な従業員の方を表彰させていただきました。

そもそも職業奉仕と云いますと、その解釈は大変むづかしい様であります。小堀憲助氏の言を借りれば自分の職業に価値を認め、これに依り自分は社会の奉仕すべき好固の機会を与えられたものと考えべきだ。そしてその基本は四つのテストにあると言って居られます。色々な関係の連鎖である職業に正直と言う潤滑油を流し込んで、あらゆる人々が信用と信頼とに支えられて生活する様にすれば、おのずから地域社会も明るくなるという構想のもとにロータリアンは例会に於いて色々なプログラムを実践に移す行動をとるのが職業奉仕ではないかと思ひます。

10月の今一つの大切な課題は米山月間であります。

米山記念奨学会は全日本のロータリアンの寄付金を財源とする在日外国人留学生の為の民間最大の奨学団体であります。今更申すまでもなく米山梅吉翁は大正9年(1920年)日本最初の東京ロータリークラブを創設され、昭和28年(1953年)にその功績を記念して発足した東京RC「米山基金」が3年後に「ロータリー米山記念奨学委員会」となり同42年(1967年)には「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立されて今日に至ったものであります。よろしく御協力の程お願いして挨拶とさせていただきます。

◆講演

“戦争を知らない世代の方にお伝えしたい終戦秘話”

会員 小坂井 盛雄君

終戦後、早いもので早や半世紀が過ぎました。

私がシベリアの抑留生活から日本に戻った昭和23年6月30日から50年余となります。終戦の時5才だった方が今は早や58才。

戦争に参加した方は73才以上の方々です。年老いました。私は平成5年6月に「シベリア零下40度」を出版致しました。それから5年、又、お話しする機会を得ました。



零下40度と云っても仲々理解してはいただけない温度ですが、冷蔵庫の中の氷室に手をふれると、ピタッとくっついてしまいます。この状態がそうです。金物に素手でさわるとクツツイてしまい手の皮が金物に付いてしまいます。

だから旧満州国における日本の軍隊では10月になると越冬準備!と云う号令が掛り兵舎の二重窓の外側の金属の取手にホウタイを巻きます。ラッパ手はラッパの口をゴム製に取り替えます。あらゆる屋外の手でふれる恐れのある金属は皆ホウタイで巻くのです。よく小便をすると凍ると云います。現実、着地したとたんに凍りつき逆つららになってしまいます。初年兵の作業の一つに、この便所の氷山コワシが大変な仕事、欠けらが飛び散り、口や目に入るのだからたまりません。

私は満州国辺境のハイラルの町にある515部隊と云う野砲聯隊に配属されていましたが、ソ連軍は、日ソ不可侵条約を無視して終戦の1週間前20年8月8日に一斉に攻め込んで来ました。

これは、米英佛壕ソの連合軍の日本の無条件降伏ヤルタ会談を見越しての漁夫の利を得んが為の汚い参戦でした。速くレニングラードにおいて獨逸軍との戦いでボロボロになった軍服を着た儘のソ連兵が何十万人も、シベリア鉄道(単線)で急遽、満州国国境へ、昼夜兼行で送られ集結していたのです。

シベリア鉄道は単線の為、車両を送り返す時間が無く側線でこれを焼いてしまうという非常手段を取ってまで集結を急いだのです。国境を越えその赤々とした火が鬼の火の様に見えたと言ひます。

ハイラルに在った呵南台の陣地は中を電車が走っている様な大きなものでしたが、大砲は既に南方戦線へ持って行ってしまい、代りに丸太棒を黒く塗って備えてある様な状態でしたから、勿論スパイによって、そんな事は百も承知のソ連軍は陣地の真正面から攻め込んで来て何なく占領、残っていた衣料、食糧の略奪を欲しいままにしたのです。陣地の貯蔵庫には弾薬、医薬品等は既に空っぽでしたが、衣料、軍靴等は山程貯蔵されて居り、しかも大正年代製造の立派な純毛製品でした。軍服の下に着るジュパン、軍袴、靴下等も大量にありましたが、ソ連軍はレニングラードの戦いでボロボロになった軍服を全部脱ぎ捨て、日本軍の新品を身にまとい攻め込んで来ました。最も一番上のルバ

ーシカと云うソ連軍の軍服は上にまとっていました。靴も新品の長靴に履き替え、何から何まで日本軍が大切に保管していたものをチャッカー奪って攻めて来たのです。

その頃の日本軍軍人はスフ入りのおそまつなものを着ていたのですから何とも皮肉なものです。

私は12月8日～11日迄たった4日間程興安嶺のふもとの開領と云う町で戦いましたが、兵器に大差がありホウホウのていで山中に逃げ戻る始末で、その間ソ連軍は吾々を歯牙にも掛けずハルピン方面へと進駐して行きました。

興安嶺の山中で私たちは15日の終戦の報を知りました。一大パニックです。大声でわめく者、軍刀をふりかざしてあばれる者、しかしやがて大きな号泣に変わりました。あちこちで自刃する者も居ました。

しかし、聯隊長が全員を集めて訓示をし、「天皇陛下へのお詫びは本官がする。お前達はどんな事があっても生きのびて日本へ帰れ、そして祖国を再建してくれ！」と云われ、拳銃で壮絶な最後をとげられました。吾々はやっとなりに吾に返り、それからハルピンに向けて山野を行軍しました。日中は物陰にひそみ、夜行動をしました。一団となって歩け、遅れるなどヒソヒソ話して励まし合いながら歩きました。それでも疲れで隊列から遅れてしまう兵が居りましたが、確実に満人の標的となり、ジョーカーが持っている様な大カマでおそろわれ命を落としました。月明りに大鎌が一灰日本兵の首がスッ飛び、霧蚊の如く満人がたかり、またたく間に日本兵はまる裸にされてしまいました。彼等もそれ以上は我々をおそつてはきませんでした。我々が未だ武器を所持している軍隊である事を知っているからです。

その後苦難の行軍の末、ようやくチチハル市に着き、列車に乗る事が出来ました。汽車は一路ハルピンを目指して走ったのですが、途中の駅々で多くの日本の民間人が大勢汽車に何とか乗り込もうとしているのに会いました。満蒙開拓団の方々でした。民間の人を残して、それを守る筈の軍隊が先に帰る形で大変に気が引けました。これらの方々は、大変な苦勞をなさった様です。幼な子も沢山居ました。この方々が今残留孤児と云われ日本へ来て肉親探しをして居る方々です。

しかし、その頃一才の赤子も今は53才、その親は75才以上でしょう。それ以上となれば勿論80才、85才、とうてい面倒を見れる様な立場では無く、元気でも隠居の身、とうてい名乗り出る事は出来ません。何故、もっと早く少なくとも日本に新幹線が走り出した頃までに手が打てなかったのでしょうか。政治の無策、貧困、大変悔やまれる事の一つです。ひょっとしたら、日本人だと云う事を知らせなかった方がお幸せだったのかも知れません。この戦争で大きな傷跡を沢山残して居ります。

北方四島は終戦日以後に、ソ連が不法に占拠したものです。未だに返しません。

沖縄は海上ヘリポート建設も反対、基地を無くせ、とわめきますが、沖縄は戦後、アメリカの占領地で、日本から行くのにパスポートが必要だった時代があり

ます。それが返還され、一つの日本になりました。戦争終了時、日本を5分割して各国が占領する案も連合軍に根強かったのですが、米国の反対で実現しませんでした。

今沖縄県の太田知事は向こう受けのする基地反対を称えて居りますが、米国だからこそ、沖縄を返還されたのです。返還の条件としては勿論基地付きでした。

北方四島は未だにソ連は返しません。北方四島に住んでいた人々の思いに比べ、沖縄はちょっと思い上がりと言う事になるのではないのでしょうか。軍縮、国防を米国におんぶして、その間に経済大国にのし上がった日本ですが、ボツボツ自前の軍隊を作り、誇りを持てる立場に自衛隊の方々をすべき時ではありませんか。

お隣の北朝鮮からミサイルが飛んで来ます。日本はこんな事で良いのでしょうか。災害の時にだけ自衛隊の方々に助けて頂く、同じ敗戦国のドイツ、イタリアにも立派な国軍があります。何故日本には自らの国を守る、愛する人々を守る、崇高な人々の集団として全国民に尊敬されるものに出来ないのか残念に思います。

とに角、自分の国は自分で守る、敗けたらあの如何にみじめなものかを身をもって痛感して居る者の一人として、太平の世になれ過ぎた日本の前途を憂うものです。

ロータリー復帰に際して

竹内 眞三

5月18日(月)朝、原稿を書き終って、やおらヨイコラショと立ち上がったが、右脚に力が入らずふらついた。2時間もあぐらで書見していた故、シビレでも切れたろう位に思い、机上のコップを持ったが稍力が入らない。どうもおかしいと思い、時間を待ったが何時もとは違う。マア無駄でもよいからとCTスキャンをとる事にした。と、なんと出てきた写真、即ち視床に小指頭大の出血点があるではないか。知り合いの内科医も「これは先生、即入院。これ以上出血を拡げてはなりません」で、爾来3週間入院となった。お陰で病巣は全く消滅し、正常と変りなしで、退院となった。が、3週間でもベットにいと足が萎える。気持ちが萎える。まつものに懲りて膾を吹くを地でゆく生活。塩とか醤油が高血圧の大敵と食事のたびにピクピク。普通食でも気分的に美味くない。体重も2kgやせた。9月からロータリー例会出席を復元した。僅か3ヶ月半だが、千種ロータリーにも多少の変動があった様だ。が相も変らぬ懐かしき面々があちらにもこちらにも元気にやっておられるではないか。嬉しくなってしまう。今後ともよろしく。僕を前者の轍(わだち)として身体だけは自重して下さい。元氣になれたらばこそ10月6日(火)の内藤ガバナーの本音の素晴らしいスピーチを聞く事が出来たのですから。

第133回ゴルフ会成績

さなげCC10/1(休)

RANK	NAME	OUT	G	Hcp	NET
優勝	田中 昭二	43	43	7.5	35.5
2位	中山 信夫	42	42	5	37
3位	鷺谷 龍男	48	48	10.5	37.5
B B	小林 明	57	57	9	48

(参加者 8名)

当日は大雨の為ハーフとなりました。

次回ハンディ変更 中山君 9、田中君 12

例会変更のお知らせ

名古屋名南RC 10/27(火)職場例会の為、アイチ健康プラザにて
 名古屋名東RC 10/27(火)名東区小中学校連合音楽会例会の為、愛知厚生年金会館にて
 豊山一城北RC 10/27(火)秋の家族会の為、10/25(日)
 名古屋大須RC 10/29(木)創立15周年記念の為、12:30~14:00まで

次回例会(10月27日)

友愛の日

1998年7~9月 例会出席率 (個人別)

(11Meeting)

会 員 名	クホ ラ ブ ム	他 ク ラ ブ	欠 席	合 計	ホ ム ク ラ ブ 出 席 率 (%)	出 席 率 (%)	会 員 名	クホ ラ ブ ム	他 ク ラ ブ	欠 席	合 計	ホ ム ク ラ ブ 出 席 率 (%)	出 席 率 (%)
足立 一成	8	3	0	11	73	100	水野 宏	1	3	7	4	9(25)	36(100)
秋山 茂則	8	3	0	11	73	100	水野 民也	11	0	0	11	100	100
青山 敏郎	10	1	0	11	91	100	水野 賀績	8	3	0	11	73	100
在田 忠之	8	3	0	11	73	100	水谷 祥督	9	2	0	11	82	100
浅井 誠寿	10	1	0	11	91	100	本山 孝	8	2	0	10	73(80)	91(100)
深見 章	6	4	1	10	55	91	中井 常雄	10	1	0	11	91	100
二村 聰	9	2	0	11	82	100	中根 三郎	10	1	0	11	91	100
萩原 喜代子	11	0	0	11	100	100	中山 信夫	7	4	0	11	64	100
林 哲央	8	2	1	10	73	91	成田 良治	10	1	0	11	91	100
堀江 宏輝	3	8	0	11	27	100	西川 豊長	10	1	0	11	91	100
池田 隆	7	0	4	7	64	64	西野 英樹	6	6	0	12	55	109
石田 耕嗣	6	5	0	11	55	100	西尾 正巳	0	0	0	0	0	0
石黒 正則	11	5	0	16	100	145	大口 弘和	5	6	0	11	45	100
伊藤 健文	8	3	0	11	72	100	大谷 和雄	7	5	0	12	64	109
伊豫田 博明	10	1	0	11	91	100	尾関 武弘	8	3	0	11	73	100
釜谷 健一	0	0	0	0	0	0	鷺谷 龍男	10	1	0	11	91	100
神崎 住恵	10	1	0	11	91	100	佐久間 良治	7	4	0	11	64	100
加藤 大豊	11	0	0	11	100	100	佐野 寛	11	1	0	12	100	109
河村 政孝	8	2	1	10	73(80)	91(100)	笹野 義春	8	3	0	11	73	100
木原 喜造	7	4	0	11	64	100	鈴木 正男	6	5	0	11	55	100
菊池 昭元	11	0	0	11	100	100	鈴木 理之	10	2	0	12	91	109
小林 明	10	1	0	11	91	100	田部井 良和	10	1	0	11	91	100
小杉 啓彰	7	4	0	11	64	100	竹内 眞三	3	1	7	4	27(75)	36(100)
小山 雅弘	10	2	0	12	91	109	田中 昭二	11	0	0	11	100	100
小坂井 盛雄	10	1	0	11	91	100	谷口 優	0	0	0	0	0	0
久保田 皓	4	9	0	13	36	118	藤堂 至正	0	0	0	0	0	0
久野 峯一	5	6	0	11	45	100	舎人 経昭	10	6	0	16	91	145
黒野 貞夫	6	2	3	8	55(75)	73(100)	魚津 常義	6	5	0	11	55	100
黒須 アイ子	10	1	0	11	91	100	和田 正敏	10	2	0	12	91	109
丸山 昌宏	10	1	0	11	91	100	鷺野 義明	11	0	0	11	100	100
柵木 充明	0	0	0	0	0	0	渡辺 辰夫	1	0	10	1	9(100)	9(100)
松居 敬二	9	2	0	11	82	100	山田 諱勝	11	1	0	12	100	109
松島 孝彰	10	1	0	11	91	100	山本 英次	9	2	0	11	82	100
三輪 康	4	7	0	11	36	100	山本 眞輔	6	6	0	12	55	109
宮尾 紘司	9	2	0	11	82	100	吉田 節美	11	4	0	15	100	136
三好 親	6	6	0	12	55	109	吉田 玄	10	1	0	11	91	100

病欠・新入会員は () 内実質計算